

建築鉄骨構造技術支援協会「鉄骨技術フォーラム2025」

—鉄骨造建築物の構造設計・鉄骨製作等における疑問に答える—

開催の趣旨

今年度のフォーラムもこれまでと同様、角形鋼管柱を用いた中小規模鉄骨造建築物を主な対象として、鋼材、構造設計、鉄骨製作、現場施工等における会員各位の日頃から抱える疑問点に当協会の関係者が回答し、更に意見交換を行う方式を考えております。フォーラムの詳細は下記の通りです。

尚、今年度のフォーラムでは昨年度2月開催の「鉄骨技術シンポジウム」を踏まえ、SASSTからの情報発信の要素も取り込んだプログラム構成としています。

鉄骨構造物に関心をお持ちの多くの方々の参加を、心よりお待ちしております。

(一社) 建築鉄骨構造技術支援協会 理事長 稲田達夫

記

主 催 (一社) 建築鉄骨構造技術支援協会

後 援 (一社) 東京構造設計事務所協会 (ASDO)

日 時 2025年11月21日 (金) 13:30~17:45 (開場: 13:00)

会 場 建築家会館ホール (渋谷区神宮前2-3-16、東京メトロ銀座線 外苑前駅より徒歩8分)

参加費 会員6,000円、非会員8,000円 ※ASDO会員、全青会会員は当協会会員として扱います
(WEB配信希望の場合は、会員3,000円、非会員6,000円)

定 員 会場参加 60名程度、WEB配信 60名程度 (いずれも申し込み順とします)

定員になり次第、申し込みを締め切ります。

プログラム

1. 理事長挨拶

2. 鉄骨造建築物の設計・鉄骨製作等における疑問に答える。

コーディネータ: 岡部純

回答者: 伊藤 優、稻田達夫、千田 光、護 雅典、増田浩志、山内哲理、横山幸夫

質問例を以下に示します。9月30日まで質問を受け付けます。

3. SASSTからの情報発信

SASST役員から、現在取り組んでいるテーマ等について報告します。 (詳細は後日連絡)

4. 意見交換会 (懇親会)

会場: 「TO THE HURBS」 外苑本店(イタリアン)を予定

定員: 60名程度 (会費3000円、当日、現地にて徴収します。)

- ①組立て溶接のフィレット端からの空き寸法
- ②連続梁の食い違い仕口のずれ
- ③溶融亜鉛めっき高力ボルトのすべり係数試験
- ④アンカーボルトとガセットボルトの干渉について
- ⑤孔径を間違えた時の対応方法
- ⑥スチフナの取り付け優先方向
- ⑦スロット孔(長孔)について
- ⑧通しダイアフラムの余長について
- ⑨アングルプレースの端部クリアランスについて
- ⑩スラブライスP.Lへの蝶番用パイプの溶接について

- ⑪飛行機梁の溶接継手の食い違いについて
- ⑫ノンドライカ工法を使用した仕口部のおさまり
- ⑬摩擦面における黒さびについて
- ⑭摩擦接合面への鋸止め塗装の付着について
- ⑮一般構造用炭素鋼鋼管について
- ⑯ウェブ板厚が薄いH形断面の溶融亜鉛めっき
- ⑰丸棒プレスの取り付け方
- ⑱開先角度の考え方
- ⑲小梁下フランジ切落しについて